

2021年度
事業報告書
(2021.4 - 2022.3)

(公財) 都市活力研究所

目次

事業の状況

【公益事業1】 産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業（調査、資料収集）（講座、セミナー、育成）

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー
（講座、セミナー、育成）

C. スマートウェルネス・オープンセミナー（講座、セミナー、育成）

D. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）

E. バイオ戦略トークセミナー（講座、セミナー、育成）

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナー（講座、セミナー、育成）

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際会議「Hack Osaka」

（講座、セミナー、育成）（相談、助言）（表彰、コンクール）

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

(1) 新事業のために大学・産業界をつなぐ人材育成プログラム（講座、セミナー、育成）

(2) 大学発ベンチャーの育成（講座、セミナー、育成）（相談、助言）

(3) 産業の振興のための産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

【公益事業2】 まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3

1. 都心まちづくり等のあり方に関する調査研究

(1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）

（新規テーマ） サステナブルなまちづくりに関する調査研究

（新規テーマ） 地域とまちづくりビジネスのマッチングに関する研究

- (継続テーマ) コミュニティ活動を通じた地域文化資源発見
- (継続テーマ) 公共空間アクティビティに関する情報収集
- (継続テーマ) 地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の研究
- (2) UIIまちづくりフォーラム(講座、セミナー、育成)
- (3) UIIまちづくりレターの配信(調査、資料収集)

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

- (1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究(調査、資料収集)

3. まちの国際化に関する調査研究

- (1) エリアMICEの推進に関する調査・研究(調査、資料収集)
- (2) 大阪のまちと国際化に関する調査・研究(調査、資料収集)

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための
補助的事业・・ 29

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

- (1) (特非) バイオグリッドセンター関西の運営支援
- (2) (一社) 日本マイクロバイオームコンソーシアムの運営支援
- (3) (一社) ライフインテリジェンスコンソーシアムの運営支援
- (4) バイオコミュニティ関西の運営支援
- (5) モダリティ研究所の運営支援

2. エリアマネジメント活動の支援

- (1) 梅田地区における案内所業務への支援
- (2) 大阪エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

3. (公社) 都市住宅学会関西支部の運営支援

4. 大学技術シーズの発掘と育成支援

【法人管理】公益法人としての適正な運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

事業の状況

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

ライフサイエンス分野において、大学等での有望な技術や研究テーマである創薬シーズの育成支援、創薬分野へのコンピュータの利用促進を図るための事業推進、技術経営プログラムの提供、さらに国際的な事業連携の課題等の調査を通じて、産業の振興を図る。

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

創薬シーズを保有し事業化への意欲を持つ大学等の研究者からの相談に対し、産業界のニーズに精通した製薬企業の研究企画部門担当者が相談委員となり、研究開発の方向性について助言を行う。2010年度に、大阪医薬品協会の協力を得て開始した。

13年目となる今年度は、シーズ募集を4回実施している。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続きオンライン開催としている。相談委員は1月末時点で22社31名である。

また、大学から創薬シーズを収集するための広報活動は、2015年度から協力を得ている医療系産学連携ネットワーク協議会（medU-net）を通じて今年度も行うとともに、当法人で実施したセミナー参加者にもメール発信した。なお、案内チラシをBioJapan 2021（10月13～15日）で配布した。

日程	シーズタイトル	シーズ相談者
8/30	新たな循環器系疾患の治療薬としての心臓アセチルコリン産生誘導薬の開発	日本医科大学 生体統御科学分野・大学院教授 柿沼 由彦
9/2	好中球抑制剤、及びクローン性造血の予防・治療用医薬組成物	福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座・主任教授 池田 和彦
9/22	髄鞘修復剤	国立精神・神経医療研究センター（NCNP）神経研究所 神経薬理研究部 部長 村松 里衣子
9/29	糖尿病と合併症を治癒させる治療薬の開発	滋賀医科大学 教授 小島 秀人
12/3	新規オピオイド受容体拮抗薬	国立精神・神経医療研究センター（NCNP）精神保健研究所薬物依存研究部・依存性薬物研究室 室長 船田正彦
12/21	ロコモティブ症候群の治療を目指した幹細胞の分化を制御するアプタマー	信州大学大学院 総合医理工学研究科・助教 高谷 智英
3/24	膵癌の増大と転移を抑える新規低分子化合物とその標的分子	川崎医科大学 医学部 生化学・教授 山内 明
3/30	新規作用機序によるピロリ菌の除菌剤	信州大学医学部医学科分子病理学教室・講師 川久保 雅友

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）

（特非）バイオグリッドセンター関西と協力し、創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用（インシリコ創薬）を推進するための研究講演会を1回実施した。

【タイトル】 バイオグリッド研究会2021 ―ヘルスケア分野におけるデータ活用と診断への応用―

【主催】（特非）バイオグリッドセンター関西

【共催】 当法人、大阪大学サイバーメディアセンター、
NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議

【参加者】 121名

プログラム	内容
基調講演	国立循環器病研究センターの共創の場について 国立循環器病研究センター 研究所長 望月直樹
基調講演	脳神経科学とヘルスケア ATR 脳情報研究所 所長 川人光男
パネルディスカッション 司会：	ヘルスケア分野におけるデータ活用と診断への応用 坂田恒昭（バイオグリッドセンター関西 理事、大阪大学）
パネリスト：（50音順）	川人光男（ATR 脳情報研究所 所長） 下條真司（バイオグリッドセンター関西 理事長、大阪大学サイバーメディアセンター） 関谷 毅（大阪大学 産業科学研究所 教授） 高田清文（近畿バイオインダストリー振興会議 専務理事） 水口賢司（医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター長、大阪大学 蛋白質研究所） 望月直樹（国立循環器病研究センター 理事・研究所長）

（一社）ライフインテリジェンスコンソーシアム（LINC）と協力し、創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用（インシリコ創薬）を推進するための講演会を2回、LINCのプロジェクトの成果報告会を1回実施した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
10/7	LINC SHOWCASE2021	【主催】（一社）ライフインテリジェンスコンソーシアム 【共催】当法人	
	「LINCの目指すべき道」	LINC代表理事（京都大学大学院医学研究科 教授） 奥野恭史	
	「我が国のDX推進に対する取り組み」	経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課 課長補佐(総括) 松本理恵	203名
	「ライフ系DXを支える基盤整備について～LINCで取り組んでいくべきこと～」	座長:LINC副代表（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所）水口賢司 LINC副代表（理化学研究所生命機能科学研究センターチームリーダー）本間光貴	

日程	タイトル	主催者等	参加者
	製薬企業のLINCへの期待 データ利活用 -医療データの観点からの課題提起 データ活用とセキュリティーにおけるIT企業の役割-	日本製薬工業協会 研究開発委員会 専門副委員長 池森恵 政策研究大学院大学 研究員 藤田正典 日本電気(株) 第一官公ソリューション事業部 中田一人	
12/15	分子動力学シミュレーションソフトウェア「GENESIS」の勉強会	【主催】(一社)ライフインテリジェンスコンソーシアム 【共催】当法人、NPO法人バイオグリッドセンター関西 【講師】 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センタープロジェクト研究員 李 秀栄	59名
3/23	分子動力学ソフトウェア「GENESIS」講習会 タンパク質ーリガンド結合計算におけるgREST法の応用事例の紹介	【主催】(一社)ライフインテリジェンスコンソーシアム 【共催】当法人、NPO法人バイオグリッドセンター関西、理化学研究所生命機能科学研究センター 【講師】 理化学研究所 生命機能科学研究センター 分子機能シミュレーション研究チーム 研究員 尾嶋 拓 アシスタント： 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター プロジェクト研究員 李 秀栄 理化学研究所 生命機能科学研究センター 分子機能シミュレーション研究チーム 上級研究員 鄭 誠虎	25名

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）

- ・「ライフサイエンスアントレプレナー入門塾 2021」

本講座はライフサイエンス分野において、事業開拓や起業に関心を持つ大学院生、大学・研究機関研究者、起業家を目指す若手研究者や企業の事業開発担当者を対象とした人材育成を目的とする実践講座で10年目となる。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインにて5月から12月までの全8日間開催した。講義後に講師を交え毎回参加者との意見交換を行った。学生2名を含む11名が受講した。

日程	タイトル	講師
第1日 5/8	①入門塾オリエンテーション 核酸医薬品研究開発の動向 ②人と組織を動かすプレゼンテーションの極意	①神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 特命教授 森 一郎 (公財)都市活力研究所 主席研究員 味村 和洋 ②(株)Smart Presen 代表取締役 新名史典

日程	タイトル	講師
第2日 6/12	③デザイン思考入門 ④ベンチャースピリット	③神戸大学 V.School 助教 祇園 景子 ※本講座修了者 ④(株)創晶 代表取締役社長 安達 宏昭
第3日 7/10	⑤勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本～デジタル×バイオ時代の到来と神戸大学の挑戦～ ⑥神戸大学発ベンチャー① バイオパレット～ゲノム編集 x マイクロバイオーム～ ⑦神戸大学発ベンチャー② シンプロジェン～長鎖DNA合成 x 遺伝子治療～	⑤神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 教授 山本 一彦 ⑥(株)バイオパレット 事業戦略部 マネージャー 岩田 清和 ※本講座修了者 ⑦(株)シンプロジェン 執行役員 医療ビジネスユニット長 齋藤 俊介 ※本講座修了者
第4日 8/14	⑧ライフサイエンス分野における 産学連携によるイノベーション創出 ⑨英国式イノベーションと日本文化	⑧神戸大学 V.School 教授 坂井 貴行 ⑨(株)ケンブリッジコンサルタンツ 代表取締役社長 佐相宏尚
第5日 9/11	⑩製薬産業におけるオープンイノベーション ⑪ライフサイエンスでの起業： Nexuspiral設立での経験	⑩塩野義製薬(株) 事業開発部 オープンイノベーション 有岡 伸悟 ⑪Nexuspiral(株) 代表取締役社長 増田 直之
第6日 10/9	⑫「事業化を目指す研究者のための 特許と契約」 ⑬「SDGsの世界感を体験する SDGsワークショップ」	⑫国立循環器病研究センター 産学連携本部長 浅野 滋啓 ⑬(一社)インバウンド・ダイバーシティ協会 代表理事 今田 大介
第7日 11/13	⑭「医療機器開発の現状と課題」 ⑮「未病克服のために 健康関数@を社会に届ける」	⑭神戸大学 未来医工学研究開発センター /医学部附属病院臨床研究推進センター 特命准教授 保多 隆裕 ⑮理化学研究所生命機能科学研究センター 健康・病態科学研究チーム 上級研究員 水野 敬
第8日 12/11	⑯「リーダーシップの本質と実践」	⑯FORESIGHT & LINX(株) 代表取締役社長 能見 貴人

・「Innovation Design Management」
デザイン思考を用い技術シーズをもとにイノベーションを設計するプロセスを学ぶ講座として1月～2月にかけてグループワーク形式で3日間の実開催を予定していたが、感染拡大防止の観点から中止した。

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー (講座、セミナー、育成)

今期で8期目となる本セミナーはライフサイエンス分野で最先端の研究を先導する関西の研究者をお招きし、最新情報の提供及び参加者同士の交流の場を提供することを目的として4回実施した。主催は当法人と(特非)近畿バイオインダストリー振興会議、共催は(特非)バイオグリッドセンター関西、後援は関西医薬品協会である。

日程	タイトル	講師	参加者
第28回 6/9	①ゼブラフィッシュを用いた循環臓器発生学研究 ②多剤耐性を引き起こす細菌薬剤排水ポンプの機能と制御	①(国研)国立循環器病研究センター 理事 研究所長 望月 直樹 ②大阪大学産業科学研究所 教授 西野 邦彦	69名
第29回 9/1	①iPS細胞を材料とした汎用性即納型T細胞製剤の作製 -急性骨髄性白血病の治療へ向けた開発研究とウイルス感染症への応用- ②感染症の重症化機構:マラリアから新型コロナウイルス感染症	①京都大学ウイルス・再生医科学研究所 副所長 再生免疫学分野 教授 河本 宏 ②大阪大学 免疫学フロンティア研究センター免疫化学研究室/微生物病研究所免疫化学分野 教授・免疫学フロンティア研究センター 副拠点長 荒瀬 尚	247名
第30回 12/16	①ヒト嗅覚受容体セルアレイセンサーが拓く新しいにおいビジネス ②炎症応答を制御するユニークなコピキチン修飾系と炎症性疾患への寄与	①大阪大学産業科学研究所 教授/ (株)香味醗酵 創業者・CSO・取締役 黒田 俊一 ②京都大学大学院医学研究科 研究科長 教授 岩井 一宏	50名
第31回 3/11	①全ゲノム解析等を用いた網羅的ゲノム解析による消化器神経内分泌腫瘍の病態解明 ②消化器がんの自然史に沿った疾患モデルの構築と応用	①大阪大学大学院医学系研究科 医学専攻 ゲノム生物学講座・がんゲノム情報学 教授 国立がん研究センター 研究所 ゲノム医科学分野 分野長 谷内田 真一 ②京都大学大学院医学研究科 消化器内科学 教授 妹尾 浩	62名

C. スマートウェルネス・オープンセミナー (講座、セミナー、育成)

健康・医療分野において、新たな医療関連サービスやビジネスモデルを創出するために、本分野の専門家による最新情報の提供セミナーを行ってきた。今年度は「デジタルヘルスのビジネス応用」で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。本セミナーは9期続けてきたが所定の目的を達したため終了する。

D. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）

健康・医療のデータサイエンスに関わる研究を取り上げて先端研究を紹介し、参加者と討論するセミナーである。日本バイオインフォマティクス学会が主催しており当法人が共催し事務局を務め2回、オンラインにて開催した。

日程	タイトル	講師	参加者
第30回 4/27	<p>「健康を測るセンシング技術」</p> <p>①「アイトラッキング法を利用した次世代型認知機能評価法の開発とその社会実装に向けて」</p> <p>②「脳波センシングとAIを活用した医療・ヘルスケア創生 ～ブレインビッグデータが拓く未来社会～」</p> <p>③「新型コロナウイルスの呼気オミックス解析と未来型呼気医療」</p> <p>④「音声バイオマーカーの開発の現状と課題」</p>	<p>①大阪大学大学院医学系研究科 准教授 武田 朱公</p> <p>②大阪大学産業科学研究所 教授 関谷 毅</p> <p>③東北大学大学院医学系研究科 教授 赤池 孝章</p> <p>④東京大学大学院工学系研究科 特任教授 徳野 慎一</p>	119名
第31回 11/2	<p>「スマートシティ構想で目指す医療、健康長寿のための街づくり」</p> <p>①「大阪スマートシティ計画 ～2025年万博に向け世界一の健康先進まちづくりが始動する!～」</p> <p>②「心不全重症化予防事業による新しい保健指導の取り組みについて」</p> <p>③「柏の葉スマートシティ健康長寿・高齢者コホート研究の現状と展開」</p> <p>④「データ駆動型スマートシティにおけるデータ共有とそのプラットフォーム:都市OSとDATA-EX」</p>	<p>①大阪府スマートシティ戦略部 部長・CIO 坪田 知巳</p> <p>②国立循環器病研究センター 健診部 特任部長 小久保 喜弘</p> <p>③東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授 久恒 辰博</p> <p>④東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授 越塚 登</p>	65名

E. バイオコミュニティ関西との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

今期7月に設立されたバイオコミュニティ関西(BiocK)は内閣府「バイオ戦略2020」の普及啓発のため、バイオ技術の社会実装を一般の方々に分かりやすく伝える連続セミナーを開催した。当法人は同団体の活動趣旨に賛同し事務局を務め、同団体主催の「バイオ戦略トークセミナー」などの企画・運営を担い、活動を支援している。

日程	タイトル	講師	参加者
10/1	第3回バイオ戦略トークセミナー 環境エネルギーの未来戦略	①京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻	118名

日程	タイトル	講師	参加者
	①「バイオガスのエネルギー利用とその高品質化について」 ②「日立造船のカーボンニュートラルに向けたバイオメタン、合成メタンへの取り組み」 ③「バイオメタンの最大化に向けて」	准教授 大下 和徹 ②日立造船(株) 環境事業本部 環境技術推進部 部長 田中 朝都 ③大阪ガス(株) エネルギー技術研究所 シニアリサーチャー 坪田 潤	
11/24	第4回バイオ戦略トークセミナー プラスチックの社会課題とバイオプラスチックの有効活用 ①「循環型社会実現に貢献するバイオプラスチックの開発とビジネス」 ②「バイオプラスチック総論と研究最前線」 ③トークセッション	①三菱ケミカル(株) サークュラーエコノミー推進本部 兼 ポリマーズ&コンパウンズ 企画本部 佐野 浩 ②大阪大学大学院 工学研究科 教授 宇山 浩 ③◇三菱ケミカル(株) サークュラーエコノミー推進 本部 兼 ポリマーズ&コンパウンズ企 画本部 佐野 浩 ◇大阪大学大学院 工学研究科 教授 宇山 浩 ◇サラヤ(株) 商品開発本部 副本部長 奥山 俊郎	81名
11/26	第1回フォトンクス生命工学分科会シンポジウム ①「医工連携が拓く未来医療」 ②「フォトンクス生命工学研究開発拠点とラマン分光イメージング」 ③「ラマン顕微鏡を用いた細胞内分子の無標識可視化技術」 ④「感染症の早期診断を実現するPoint of careデバイスの開発」 ⑤「COI-NEXTでの連携の方向性や産学官医の連携の在り方」 ⑥「立体臓器構造の構築と医療・創薬・食分野への応用」 ⑦「バイオセンシングとデジタルヘルスケア」	①大阪大学 大学院医学系研究科 名誉教授 澤 芳樹 ②大阪大学 大学院工学研究科 教授 藤田 克昌 ③産業技術総合研究所 先端フォトンクス・バイオセンシングOIL 副ラボ長 藤田 聡史 ④産業技術総合研究所 先端フォトンクス・バイオセンシングOIL 副ラボ長 永井 秀典 ⑤シスメックス(株) 中央研究所 先端工学研究グループ 部長 岩永 茂樹 ⑥大阪大学 大学院工学研究科 教授 松崎 典弥 ⑦産業技術総合研究所 先端フォトンクス・バイオセンシングOIL ラボ長 民谷 栄一	113名

日程	タイトル	講師	参加者
12/2	<p>関西を新たなデジタルヘルスビジネス拠点へ</p> <p>①「PHRの推進とnon-SaMDの振興に向けて」</p> <p>②「non-SaMD・SaMD間の考え方の違い」</p> <p>③パネルディスカッション ～non-SaMD(健康増進アプリ)を振興するには何が必要か～</p>	<p>①経済産業省 ヘルスケア産業課長 稲邑 拓馬</p> <p>②(株)asken 執行役員 兼 Asken Inc.(US社) COO 天辰 次郎</p> <p>③ ○問題提起 座長 京都大学大学院医学 研究科医療情報学 教授 黒田 知宏</p> <p>○パネリスト ・大阪大学医学部附属病院 未来医療開発 部 国際医療センター長 中田 研 ・(一社)日本クラウドセキュリティア ライアンス(CSA Japan) 代表理事 笹 原 英司 ・製薬デジタルヘルス研究会(SDK) 田 辺三菱製薬(株) デジタルトランス フォーメーション部 専門部長 神 敏朗 ・(株)MICIN DTx事業部 RAスペシャリス ト 桐山 瑤子 ・NTT西日本 イノベーション戦略室 事 業開発担当シニアマネージャー デジタルヘルスケアプロデューサー 戸 田 伸一</p>	275名
12/9	<p>第5回バイオ戦略トークセミナー 関西Bio拠点におけるスタートアップエコ システムの形成に向けて</p> <p>①「神戸大学発バイオベンチャーの事例 研究～シード期からアーリー後期迄の事 業創造プロセスと現状の課題～」</p> <p>②「事業会社のオープンイノベーション への期待と課題」</p> <p>③「世界初の「再生誘導医薬」の開発経 緯とステムリムのビジネスモデル」</p> <p>④パネルディスカッション</p>	<p>①神戸大学大学院 科学技術イノベーショ ン研究科 教授 山本 一彦</p> <p>②アストラゼネカ(株) イノベーションパートナーシップ &i2.JP 劉 雷</p> <p>③(株)ステムリム 代表取締役 社長執行役員 岡島 正恒</p> <p>④《ファシリテーター》 バイオコミュニティ関西 スタートアップ分科会 リーダー (株)三井住友銀行 関西成 長戦略室 成長事業 開発部 部長 宮川 潤</p> <p>《パネリスト》 上記登壇者(山本一彦、劉雷、 岡島正恒)</p> <p>三菱UFJキャピタル(株) 執行役員 ライフサイエンス 部長 長谷川 宏之</p> <p>バイオコミュニティ関西 副委員長兼統括コーディネーター坂田 恒 昭</p>	189名

F. モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

その他事業として事務局業務を担っているモダリティ研究所との共催により下記のセミナーを開催した。

日時	タイトル	講師	参加者
2/3	<p>第1回次世代モダリティセミナー～細胞内タンパク質を標的とする次世代モダリティ～</p> <p>主催：NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（（一社）ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン） 共催：当財団 協力：バイオコミュニティ関西（BiocK）</p>	<p>「細胞内タンパク質分解技術と創薬」 東京大学大学院薬学系研究科 特任教授 内藤幹彦 「抗体・機能性タンパク質の細胞内送達に向けて」 京都大学化学研究所 教授 二木史朗 「ペプチドから低分子創薬への可能性 - アロステリ- への挑戦」 ペプチドリーム(株) 取締役副社長 舩屋圭一</p>	680名

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

起業家や起業支援者が集まり、新事業がふ化する魅力ある環境の形成を通じて、大阪の産業の振興を図る。

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナー（講座、セミナー、育成）

起業家の輩出と起業家のさらなる成長を促進することを目指し、起業に関する知見を得たり、投資家等の支援者とのネットワークを広げるためのセミナー等を実施する。

今年度も、国内外のイノベーションの潮流を実感できるセミナーを実施中である。具体的には、起業を目指す人や起業家のための知識と人脈を広げるための勉強会や、起業家と支援者の接点作りのための交流会のプログラムとして、「おひるごはんセミナー」を概ね隔週で実施した。

・おひるごはんセミナー

※ファシリテーター GONENGO LLC XinSuzuki

日程	タイトル	講師	参加者
6/17	リバースtalking~インフラを支える企業編 Part1~	阪急阪神不動産(株) 吉田 碧生 氏	24名
6/24	Growth Through Pain	(株)トラベルテックラボ CEO 芝先 恵介 氏	9名
7/15	Growth Through Pain	(株)MIYACO 代表取締役 中馬 一登 氏	15名
7/29	リバースtalking~メディア企業編Part1~	(株)MBSホールディングス 総合企画局 エグゼクティブ 赤城 賢彦 氏	8名
8/19	リバースtalking~印刷企業編 Part 1 ~	凸版印刷(株) 西日本事業本部 中本 広樹 氏	12名
8/26	Growth Through Pain	ホログラム(株) President 山地 直彰 氏	6名
9/16	関西イノベーションイニシアティブ ~産学融合による持続可能な社会の実現 に向けて~	(公財)都市活力研究所 主席研究員 若井 哲 氏	17名
9/30	Growth Through Pain	(株)クルー級建築事務所 CEO 水谷 光佑 氏	9名
10/21	関西イノベーションイニシアティブ ~産学融合による持続可能な社会の実現に に向けて~	(株)産学連携研究所 EIR 若松 知哉 氏	16名
10/28	リバースtalking~インフラを支える企業編 Part2~	南海電気鉄道(株) まちづくり創造室 沿線価値創造部 粉川 純一 氏	11名
11/11	関西イノベーションイニシアティブ ~産学融合による持続可能な社会の実現に	エニシア株式会社 代表取締役 小東 茂夫 氏	8名

	向けて～		
12/9	Growth Through Pain	株式会社Smile Planner 代表取締役 津口 竜一氏	12名
12/23	リバーstalking～インフラを支える企業編 Part3～	ダイキン工業(株) テクノロジーイノベーションセンター 西川 良太 氏	11名
1/6	関西イノベーションイニシアティブ ～産学融合による持続可能な社会の実現に 向けて～	(株)スクリエ 代表取締役 岡本 孝博 氏	8名
1/14	拡大版～日本サブスク大賞2021グランプリ 受賞! 「多様な価値観を許容する社会」 を創造するスタートアップの挑戦 <旅の サブスクHafH創業者に迫る>～	(株)KabuK Style 共同創業者/COO 大瀬 良亮 氏	25名
1/20	Growth Through Pain	Flora(株) 代表取締役 クレシエンコ アンナ 氏	14名
2/3	関西最大級のスタートアップの祭典「Hack Osaka 2022」開催直前スペシャル	(公財) 都市活力研究所 高野 夏紀 氏	12名
3/10	KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix 2022 報告会	-	28名
3/24	今年度最終回! ～大阪のイノベーション・ エコシステムの現在地～	(株)Human Hub Japan 代表 吉川 正晃 氏	16名

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際会議「Hack Osaka」

(講座、セミナー、育成) (相談、助言) (表彰、コンクール)

2013年度より、大阪・関西における起業マインドを醸成し、地域起業支援コミュニティを活性化するため、海外のイノベーションへの取組みの先進的事例を紹介するとともに、国内外の起業家を対象としたビジネスプランコンテストや交流促進のためのイベント等の企画・運営を、大阪市・大阪産業局・日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部ともに行っている。今年度はオンラインとリアルのハイブリッド形式にて開催した。

【開催日】2022年2月10日

【主催】 国際イノベーション会議Hack Osaka実行委員会（大阪市、（公財）大阪産業局、（独）日本貿易振興機構、当法人）

【共催】 大阪イノベーションハブ、大阪外国企業誘致センター、（一財）大阪国際経済振興センター

【参加者数】 ナレッジシアター来場者数：67名

※実行委員会実務担当及び運営スタッフ、カメラマン等は含まない

EventHub申込者数<2022年3月31日（木）時点>：801名

※主催者や関係者、一部のナレッジシアター来場者を含む

プログラム	登壇者等（敬称・役職等省略）
①Opning Act	大阪市長 松井 一郎 氏
②Theme Session 1 「大阪から始まる次世代の移動人がもっとつながる未来へ」	(株)SkyDrive 取締役COO 佐藤 剛裕 氏 (株)ティアフォー 取締役COO 田中 大輔 氏 (公財)大阪産業局 IoT・RTビジネス推進部 部長 手嶋 耕平 氏
③Special Talk 「スタートアップ、最高の挑戦に必要なもの」	(株)ユーザベース 代表取締役 Co-CEO/ (株)ニューズピックス 代表取締役 Co-CEO 稲垣 裕介 氏
④Theme Session 2 「産学融合の聖地 大阪・関西を目指して」	大阪ヒートクール(株) 代表取締役 伊庭野 健造 氏 関西イノベーションイニシアティブ (KSII) 金山 秀行 氏 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC) 事務局 (公財)大阪産業局 野崎 麻衣 氏 Human Hub Japan 代表/阪急阪神不動産(株)顧問/元大阪市経済戦略局理事 吉川 正晃 氏
⑤Break Session 1 (KANSAI STUSENT PITCH Grand Prix 2021 最優秀賞受賞者によるピッチ)	奈良先端科学技術大学院大学切田 澄礼
⑥Reverse Pitch	川崎重工業(株) 企画本部 イノベーション部 主事補 吉澤 宏大 氏 ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター CVC室 岡田 光正 氏 南海電気鉄道(株) イノベーション創造室 新規事業部 富重 真帆 氏 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 経営企画室 課長代理 坂本 りっか 氏
⑦Break Session 2 (グローバルアクセラレーション・プログラム「KGAP+」の紹介)	(株)国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 代表取締役専務・事業開発室長 鈴木 博之 氏
⑧グローバルピッチコンテスト Hack Award 2022 テーマ: Future Society (豊かで安心した暮らしや持続可能な社会) 主に、次世代モビリティ、インフラ (既存インフラの効率化、通信含む次世代インフラ等)	[審査員 (書類審査)] 審査委員長・(株)Monozukuri Ventures 代表取締役 牧野 成将 氏 (株)Human Hub Japan代表 吉川 正晃 氏 大阪外国企業誘致センター 事務局次長 梁 瑜 氏 [審査員 (オブザーバー)] 大阪府商工労働部 成長産業振興室 国際ビジネス・企業誘致課 千原 美紀 氏 [審査員 (本審査)] Country Manager of Rainmaking Innovation Japan Brian Lim 氏 Director, Japanese Partnerships of Plug and Play 小林 俊平 氏 Founder & CEO of transferNET Tim Miksche 氏

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

当法人は、2020年11月より、大学や研究機関が保有する技術シーズを事業化し社会課題の解決に貢献することを目的としたエコシステム構築を目指し、「関西イノベーションイニシアティブ（KSII）」を代表幹事機関として運営している。

本事業は、2020年9月、経済産業省の「産学融合先導モデル拠点プログラム」に採択され、経産省の補助事業として実施しているものである。

(1) 新事業のために大学・産業界をつなぐ人材育成プログラム（講座、セミナー、育成）（調査、資料収集）

- コーディネーターズクラブ
スタートアップ起業に共通する課題として、経営を担う中核人材の不足がある。これらの人材を発掘・育成する為に、副総括エリアコーディネーターを座長に参画金融機関を主なメンバーとした研究会「コーディネーターズクラブ」をおよそ月1回の頻度で開催した。
- 人材育成イベント
スタートアップ起業・参画を通じた人材の育成を目的としたイベント1件に共催した。事例紹介や、大企業人材の参画を促進する国の支援策の紹介等を行った。

日程	タイトル	内容	参加者
8/26	経営層、新規事業担当者向け「スタートアップ起業・参画への挑戦を通じた人材育成とイノベーションの創出」 【主催】大阪イノベーションハブ 【共催】関西イノベーションイニシアティブ <プログラム> 【基調講演】 【スタートアップ起業・参画の事例紹介】 【経済産業省の取組み紹介】 ・登壇者によるパネルディスカッション ・関西の関連施策の紹介	スタートアップ拠点形成戦略を背景に、経産省が大企業人材のスタートアップへの参画、カーブアウトによる起業等を推進するため、関西圏の大企業、中堅企業の経営層、経営企画担当、新規事業担当等をターゲットに開催。国・関西の活動の認知度は不足しているが、本イベントの満足度は高かったとの結果が得られた。 スタートアップ起業・参画を通じた人材育成とイノベーションの創出 (株)ゼロワンブースター 取締役 共同代表 合田 ジョージ 氏 マイキャン・テクノロジーズ(株) COO 伏原 和久 氏 (株)リバーズ 代表取締役社長 松原 安理佐 氏 経済産業省 経済産業政策局 産業人材課 課長補佐 奥山 恵太 氏 経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課 清水 貴大 氏	86名

● ECP-KANSAI

KSIIと京阪神スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC) は、関西における大学発スタートアップの継続的な創出に向け、シーズの事業化等をめざす研究者と起業家人材候補との交流やマッチングの促進を主眼としたプラットフォーム「ECP-KANSAI」構築のための準備を進めてきた。本プラットフォームの活動開始を記念して、イベントを開催した。

【タイトル】京阪神からスタートアップをはじめよう！～起業の種×起業家候補～

【開催日】2022年3月8日

【主催】京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)、
関西イノベーションイニシアティブ(KSII)

【後援】経済産業省近畿経済産業局、京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市、
(公社) 関西経済連合会、(一社) 関西経済同友会、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、(一社) 京都経済同友会、(一社) 神戸経済同友会

タイトル	内容	参加者
【プログラム】		
①開会挨拶	京都大学 産官学連携本部長 室田 浩司 氏	238名 (申込)
②来賓挨拶	経済産業省近畿経済産業局 地域経済部長 大木 雅文 氏 公益社団法人関西経済連合会 理事・産業部長 野島 学 氏	52名 (会場)
③基調講演	(一社) 日本スタートアップ支援協会 代表理事 岡 隆宏 氏	89名 (You Tube 視聴者 数)
④先輩起業家によるトーク	京都フュージオニアリング(株) 代表 長尾 昂氏 ルクサナバイオテック(株)代表取締役社長 佐藤 秀昭 氏	
⑤研究者ピッチプレゼンテーション	関西大学システム理工学部 機械工学科 ナノ機能物理 工学研究室 教授 伊藤 健 氏 京都府立医科大学循環器内科学不整脈先進医療学講座 講師 妹尾 恵太郎 氏 滋賀医科大学再生医療室室長 教授 小島 秀人 氏	
⑥パネルディスカッション 【起業家講演登壇者】	(一社) 日本スタートアップ支援協会 代表理事 岡 隆宏 氏 京都フュージオニアリング(株) 代表 長尾 昂 氏 ルクサナバイオテック(株) 代表取締役社長 佐藤 秀昭 氏	
【モデレーター】	神戸大学 産官学連携本部 教授 アントレプレナーシッ プセンター長 熊野 正樹 氏	
⑦閉会挨拶	大阪大学共創機構イノベーション戦略部門機構長補 佐・部門長 教授 北岡 康夫 氏	

(2) 大学発ベンチャーの育成（講座、セミナー、育成）（相談、助言）

大学発ベンチャーの育成支援を行うために、大学が持つシーズや産業界のニーズを収集し、大学が持つシーズを紹介するセミナーや事業化に向けてのマッチングを実施した。

- 大学が持つシーズを紹介するセミナーや事業化に向けてのマッチングの場に共催し、ベンチャー育成の活性化に務めた。

日程	タイトル・主催・後援	内容	参加者
7/2	HVC KYOTO 2021 【主催】日本貿易振興機構（JETRO）、京都府、京都市、京都リサーチパーク(株) 【共催】関西イノベーションイニシアティブ、京都大学産官学連携本部（SACI）、京都大学イノベーションキャピタル(株)	ヘルスケア分野の新しいイノベーションと出遭する日本随一の英語ピッチ&パートナーリングイベントとして、今年も全セッションを英語で開催。 基調講演 3 件のほか、ピッチセッションにて海外 7 件を含む 23 件の発表。 8 分間のピッチ毎に国際経験豊富なメンター陣が助言する公開メンタリングを実施。	350 名 (関係者含む)
12/24	未来のビジネスを考える!~ 社会課題×Technology×Business ~ 【主催】関西イノベーションイニシアティブ、(公財)京都高度技術研究所 【プログラム】 <第一部> ●基調講演「未来共創イニシアティブの取組み」 ●パネルディスカッション 【パネリスト】 【モデレーター】 <第二部> 実践者 7 名によるオープンイノベーションピッチ 1「水資源の再利用を推進するための膜処理・促進酸化処理システムの開発」 2「可視光応答型光触媒を用いた水分解による水素生成」	「全ての世代において、健康で豊かな暮らしを可能にする持続可能な社会の実現を目指す」をテーマに、「社会課題 × Technology × Business」という視点で、求められているビジネスの方向性等を議論するシンポジウムを開催。 須崎 彩斗 氏 三菱総合研究所 未来共創イニシアティブ事務局長 堺井 啓公 氏 (公社)2025 年日本国際博覧会協会 広報戦略局長 須崎 彩斗 氏 三菱総合研究所 未来共創イニシアティブ事務局長 深尾 昌峰 氏 ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター副センター長 龍谷大学学長補佐 政策学部教授 藤木 庄五郎 氏 (株)バイオーム 代表取締役 山口 洋典 氏 立命館大学 共通教育推進機構 教授 竹内 悠 氏 京都大学大学院工学研究科流域圏総合環境質研究センター助教 富田 修 氏 京都大学大学院工学研究科 助教	会場参加 31名 オンライン参加 82名

日程	タイトル・主催・後援	内容	参加者
	<p>3「ドローンを用いた鋼製インフラ点検のための技術」</p> <p>4「温冷触覚インタフェースを用いたヘルスケア事業」</p> <p>5「一万年後の地球をあきらめない～自然資本を豊かにしながら豊かな暮らしを実現する～」</p> <p>6「AI 画像分類と判断根拠の可視化による、未知の特徴の探索」</p> <p>7「人工脂肪を活用した乳房再建の実現」</p>	<p>東 善之 氏 京都工芸繊維大学機械工学系 助教</p> <p>伊庭野 健造 氏 大阪ヒートクール(株) 代表取締役</p> <p>小野 曜 氏 サンリット・シードリングス(株) 代表取締役 (CEO)</p> <p>神保 岳大 氏 (株)日本学術サポート チーフエンジニア</p> <p>長谷川 雪憲 氏 (株)レナートサイエンス 代表取締役社長</p>	
1/20	<p>モノづくり Promotion Meet-up 2021</p> <p>【主催】 京都リサーチパーク(株)</p> <p>【共催】 関西イノベーションイニシアティブ (代表幹事機関 (公財) 都市活力研究所、(一社) 京都試作ネット、(株)Monozukuri Ventures、</p>	<p>ディープテック系など関西モノづくりベンチャー企業 6 社による発表」を開催。 【モノづくり企業】</p> <p>①(株)Space Power Technologies 古川 実 氏 ②(株)イーエスピー 林 直樹 氏 ③(株)光響 松永 啓吾 氏 ④Ghoonuts(株) 都志 宣裕 氏 ⑤(株)GF技研 杉山 弘章 氏 ⑥PLEN Robotics(株) 富田 敦彦 氏</p> <p>製品開発に資金や人的リソースを割くことが優先事項となりがちなモノづくりの事業に対し、販路拡大に寄与する動画制作などPRサポートをすることを目的に、スタートアップ企業とのオープンイノベーションや投資に積極的な事業会社にパートナー企業として参画いただき、ビジネスマッチングの機会を提供。 当日は、パートナー企業と大学発ベンチャー等のマッチング件数10件、個別面談36件となった。</p>	
2/3 -2/4	<p>京阪神スタートアップアカデミア・コアリション【KSAC】 Demo Day 2022</p> <p>【主催】 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション</p> <p>【共催】 大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム・大阪イノベーションハブ・関西イノベーションイニシアティブ (代表幹事機関 (公財) 都市活力研究所)</p>	<p>京阪神スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC) にて採択され、それぞれ専任支援人材によるハンズオンなどを通し、磨き上げてきた26プロジェクトを、【ライフサイエンス・ヘルスケア・ものづくり・情報通信・アグリ】など分野ごとに分け、それぞれの技術シーズをもとにしたベンチャー事業構想を発表。</p>	<p>事前申込登録者数 588名</p> <p>全てのPV数 2,965件。</p>

日程	タイトル・主催・後援	内容	参加者
2/15	AIビジネス創出アイデアコンテスト2022 【主催】大阪商工会議所、人工知能技術コンソーシアム(AITeC) 【共催】関西イノベーションイニシアティブ(代表幹事機関 (公財)都市活力研究所)、都心型オープンイノベーション拠点「Xport」	人工知能(AI)技術を活用した事業のアイデア、ビジネスプランを募集し、優秀な提案の実証を支援することで、AIの社会実装を推進。 最終審査会では、15件の応募のうち書類審査を通過したファイナリスト7者が公開プレゼンテーションを実施。	
2/21	京都大学における農業系研究開発プロジェクトの現状と未来 ～産官学連携による農業のパラダイムシフトに向けて～ 【主催】関西イノベーションイニシアティブ、京大オリジナル(株) 【共催】:京都大学産官学連携本部、グリーンエネルギーファーム産学共創パートナーシップ	農業のパラダイムシフトに向け、京都大学等が中心となって進めているプロジェクトについての紹介と、新たな連携やプロジェクトの掘り起こしを図ることを目的に開催。 [プログラム] ●「中山間地域水稲栽培におけるスマート農業」飯田訓久(農学研究科 地域環境科学専攻 生物生産工学講座 教授) ●「シロアリの木材分解能力を用いた自然循環型食糧生産システム」松浦健二(農学研究科 応用生物科学専攻 昆虫生態学分野 教授) ●「化学農薬に依存しない害虫被害ゼロ農業の実現」日本典秀(農学研究科 地域環境科学専攻 生態情報開発学分野 教授) ●「持続可能な高効率太陽熱利用型施設園芸モデルの構築」土井元章(農学研究科 農学専攻 園芸科学講座 教授) ●「センサに基づく農業の環境負荷・食品ロス削減」近藤直(農学研究科 地域環境科学専攻 生物センシング工学分野 教授) ●「メタン発酵システムを組み込んだ持続可能な稲作体系の構築」大土井克明(農学研究科 地域環境科学専攻 生物生産工学講座 助教)	申込者数 506名
3/11	大阪大学/OUVC Innovators' Meeting 【主催】大阪大学、(公財)都市活力研究所、大阪大学ベンチャーキャピタル(株) 【プログラム】 第1部【大阪大学のベンチャー支援の取組】 第2部【OUVC投資先の紹介】	大阪大学におけるベンチャー支援の取組や学生発・阪大発のベンチャー企業による講演、大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC)の投資先企業の事業プレゼンテーション 1. 官民イノベーションプログラム総括 (大阪大学共創機構 機構長補佐 北岡康夫) 2. 学生発VB講演 ・(株)New Innovatios ・(株)GramEye 3. 阪大発VB講演 ・PaMeLa(株) ・(株)JIMED 1. OUVC近況報告 (OUVC 代表取締役 清水速水) 2. 投資先の事業プレゼンテーション ・(株)アイ・ブレインサイエンス ・ネクスファイ・テクノロジー(株) ・ルクサナバイオテック(株)	

日程	タイトル・主催・後援	内容	参加者
3/29	<p>農学のバイオエコノミーへの貢献</p> <p>【主催】大阪府立大学</p> <p>【共催】関西イノベーションイニシアティブ</p> <p>【プログラム】 ＜開会挨拶＞</p> <p>＜第一部＞ 招待講演</p> <p>＜第二部＞ 大阪公立大学の取り組み</p> <p>＜第三部＞ パネルディスカッション</p>	<p>大阪公立大学農学部への役割の一つとして求められる、グローバルな「世界的な課題と先端研究」からローカルな「大阪に於ける農業課題の解決」までの幅広い観点に基づいた人材育成を基軸としたハブ機能を形成するために、農学を巡る社会のニーズを明確化し、産官学研究連携が生み出すシーズの可能性について議論。</p> <p>辰巳砂 昌弘(大阪公立大学学長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●坂元雄二(日本バイオ産業人会議) 「バイオエコノミーにおける農学の役割」 ●村中俊哉(大阪大学大学院工学研究科 教授) 「ゲノム編集・アグリ工学を軸とした大学間連携」 ●小西充洋(ヤンマーホールディングス(株) 技術本部 イノベーションセンター プロトタイプ開発部 主幹) 「SDGs とこれからの農業」 ●原田行司(大阪府環境農林水産部農政室 室長) 「ポストコロナ社会を踏まえた大阪農業の展開」 ●太田大策(大阪府立大学 バイオエコノミー研究所 所長) 「バイオエコノミー研究所の目指すもの」 ●横井修司(大阪府立大学 教育研究フィールド フィールド長) 「教育研究フィールドの紹介」 <p>「大都市大阪における農業・農学の未来と関西アカデミアへの期待」 坂元雄二、村中俊哉、小西充洋、原田行司、太田大策、横井修司 小泉望(コーディネーター、大阪公立大学副農学研究科長予定者)</p>	<p>会場聴講者数 20名</p> <p>延べ視聴者数 228名</p>

- 当法人の持つ経済団体等との繋がりを活かした、大学発ベンチャーと産業界のマッチングイベントを主催・共催し、大学発ベンチャーを広く産業界へ紹介した。

日程	タイトル	内容	参加者
7/9	<p>関経連×けいはんなオープンイノベーションフォーラム2021</p> <p>【主催】 関西経済連合会 関西文化学術研究都市推進機構(株)けいはんな</p> <p>【共催】 関西イノベーションイニシアティブ</p> <p>【プログラム】 1.主催者あいさつ</p> <p>2.けいはんな学研都市におけるスター</p>	<p>研究機関や大学等が集積する「けいはんな学研都市」の関連スタートアップと会員を中心とする企業とのマッチングを実施。スタートアップから「これまでのイベントにはないほどの幅広い業種・企業との名刺交換・商談ができた」と好評を博した。</p> <p>(公社) 関西経済連合会 会長 松本正義</p> <p>(公財) 関西文化学術研究都市推進機構理事</p>	<p>約300名 (オンライン・会場合計)</p>

	トアップ育成の取り組み 3.企業紹介 4.閉会挨拶	長 堀場 厚 国際電気通信基礎技術研究所(ATR)代表取締役専務 鈴木博之 関経連ベンチャー・エコシステム委員会委員長 澤田拓子	
10/5	関西経済連合会×KSIIイノベーション共創フィールドワーキング 【プログラム】 1. 関西イノベーションイニシアティブご挨拶 2. 産学連携本部活動・技術シーズ紹介・質疑応答 3. 意見交換	産業界と大学産学連携本部との意見交換・研究シーズ紹介を実施。和歌山大学・大阪府立大学・大阪市立大学・兵庫県立大学が参加し、広域に及ぶ大学を支援対象とした 和歌山大学 産学連携イノベーションセンター 副センター長 似内 映之 氏 大阪市立大学 U R A 関山 泰司 氏 大阪府立大学 U R A センター長 赤木 与志郎 氏 兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構 教授 竹内 章 氏 ファシリテータ: Human Hub Japan 代表 吉川 正晃 氏	
10/26	大阪・京都・神戸商工会議所×KSII U-START UP 大阪・関西万博 【主催】 大阪商工会議所 関西イノベーションイニシアティブ 【共催】 京都商工会議所神戸商工会議所 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」 【特別協力】 (一社)ナレッジキャピタル 【後援】近畿経済産業局、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会	優勝者のCES2022出展サポートまで実施、海外展開支援の知見・経験を蓄積した。 [ファイナリスト] (株)エネコートテクノロジーズ 大阪ヒートクール(株) Symbiobe (株)	
7/21(大阪大学) 12/17(京都大学)	関西経済同友会 グローバル・ベンチャーエコシステム委員会	関西経済同友会 グローバル・ベンチャーエコシステム委員会と連携し、大阪大学および京都大学の研究シーズを大企業の経営者等に紹介、事後、個別面談を実施 7/21講師:大阪大学共創機構イノベーション戦略部門機構長補佐・部門長教授 北岡 康夫 氏 12/17講師:京都大学産官学連携本部 本部長 室田浩司 氏	7/21 88名 (WEB) 12/17 120名 (WEB)
1/31	関西アカデミア×KSII×SMBC 第1回 Challenge万博『いのち輝く未来社会』へ 主催: 関西イノベーションイニシアティブ(代表幹事機関(公財)都市活力研究所)、(株)三井住友銀行	関西を代表する11の大学が参加し、新たなオープンイノベーション/産学連携を生み出すマッチング&セミナーを実施 主催の金融機関、開催地 東京の産業界との連携を深めた	235名 (WEB)

	<p>協力：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会</p> <p>後援：経済産業省(予定)、近畿経済産業局、公益社団法人関西経済連合会</p> <p>(一社) 関西経済同友会、大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所</p> <p>(公財) 大阪産業局、(一社) 京都知恵産業創造の森</p>	<p><登壇者></p> <p>(株)三井住友銀行 代表取締役副頭取執行役員 角元 敬治</p> <p>関西イノベーションイニシアティブ(KSII) 総括エリアコーディネーター 村尾 和俊</p> <p>副総括エリアコーディネーター 吉川 正晃</p> <p>京都大学イノベーションキャピタル(株)(iCAP) 代表取締役社長 楠美 公氏</p> <p>大阪大学ベンチャーキャピタル(株)(OUVC) 代表取締役社長 清水 速水氏</p> <p>神戸大学 (株)Function神戸大学大学院 特命助教 安田 昌平氏</p> <p>関西学院大学 Bridge UI(株) 代表取締役 前田 慶土郎氏</p> <p>同志社大学 『カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム』 理工学部環境システム学科 教授 学長補佐 後藤 琢也氏</p> <p>立命館大学 (株)チトセロボティクス 代表取締役 西田 亮介氏</p> <p>京都大学 (株)エネコートテクノロジーズ 代表取締役 加藤 尚哉氏</p> <p>公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報戦略局長 堺井 啓公氏</p> <p>大阪府立大学 Innovare(株)(イノベア) 代表取締役 川谷 光隆氏</p> <p>大阪市立大学 『データ駆動型アプリ工房の設立に向けて』 工学研究科 教授 阿多 信吾氏</p> <p>大阪大学 (株)コトバデザイン会長 栄藤 稔氏</p> <p>大阪工業大学 『人流の可視化によるビジネス創生』 教授 尾崎 敦夫氏</p> <p>関西大学 (株)アイ・エレクトロライト 未来創生ディヴィジョンゼネラルマネージャー 副田 和位氏</p> <p>近畿大学 (株)YORAKU 経営学部経営学科4年生 片野 倫太郎氏</p> <p>(株)三井住友銀行 法人戦略部長 池口 亮二</p>	
--	--	---	--

- うめきた響合の場2021

KSIIは、産学連携部門の窓口機能を都心部に集約し、産業界との接点を構築、交流連携に向けた環境作りを行うための検討を行っている。

関西経済連合会は、2024年にまちびらきする「うめきた2期」に大企業、ベンチャー企業、大学等が日常的に出会い、新たな価値を生み出していく場として、大企業のオープンイノベーション部門の窓口が集う「出店(でみせ)」機能の実現をめざしている。

そこで、この実現性の検証のため、うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会、関西経済連合会と共同でトライアルイベントを実施した。

日時	タイトル・主催・後援	内容	参加者
12/15 -17	うめきた響合の場2021 主催：うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 共催：公益社団法人関西経済連合会・（公財）都市活力研究所 協力：関西・共創の森	大企業、大学、支援機関のオープンイノベーション部門の方が集い、提案・相談を受け付ける「出店(でみせ・ブース)」を出していただき、スタートアップをはじめとする企業や大学等からの個別の提案・相談を受け付けていただくもの	個別面談数 約150件

- 士業相談会

大学発ベンチャーの立ち上げと成長促進に向けて、参加者に本相談会を通して課題解決に資するヒントを得てもらうこと、大学の知財担当者や大学発ベンチャーと士業人材との顔合わせを行い、個別支援につなげる機会とすることを目的として、独立行政法人 工業所有権情報・研修館 近畿統括本部(INPIT-KANSAI)との共催で、大学発ベンチャーに対する弁護士・弁理士による相談会を実施した。

今回の知見は、今後のKSIIによる、知的財産業務に携わる担当者のための勉強会・相談会の企画、KSIIへの士業相談員派遣、知財担当者同士の情報交換と課題解決の場の構築等に、活用を図る。

日時	タイトル・主催・後援	内容	参加者
3/7	士業相談会	KSIIKSII参画大学が保有する技術シーズや当該大学発ベンチャーが関係する知的財産について、関連施策上の課題や問題点を解決する為の相談会(弁護士、弁理士)	延べ6件

(3) 産業の振興のための産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

- 出島調査

関西圏においては、有望なシーズや高度な技術力を持つ大学が郊外に分散立地している。一方で、産業界の中核機能が集積し、関西外・国内外からの来訪者のゲートウェイとなるのは都心部であり、両者間の物理的距離が産学の交流・連携を阻害し、ひいては共同研究・開発を円滑に進める上での課題となっている。そこで、産業界とアカデミアの接点強化を図ることにより、大学発研究シーズの社

会実装を促進することを目的として整備された施設・組織を「産学融合拠点（大学出島）」と定義し、その形成に必要な基礎的な情報を収集整理することを目的とした調査を実施した。

【主な調査内容】

- ・国内外における事例調査
 - ・有識者ヒアリング
 - ・文献調査
 - ・産学融合拠点の必要性と意義
 - ・求められる役割と機能
- 技術シーズデータベース
企業や起業家が、大学発の技術シーズを容易に閲覧・調査することが可能となることで、技術シーズ情報の活用促進を図るため、今年度は、京都大学、大阪大学から約140件の技術シーズ情報を登録して、技術シーズデータベースを作成した。

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 都心まちづくり等のあり方に関する調査研究

新しいまちづくりのあり方について産学官で議論する場をつくり、今後の新しい方向性の提言等により、新しいムーブメントの醸成に寄与する。

(1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）

大阪都心部の活性化に向けて、これからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行っている。

今年度は、大学との共同研究1件を含み計5件の研究を実施しており、テーマは次の通りである。

○（新規テーマ）サステナブルなまちづくりに関する調査研究

産学官から、大阪都心及びその近郊の中長期的なあり方を考えるうえで鍵を握るメンバーを集め、情報・意見交換の場を設けた。そのなかで、まちづくりの最新動向に関する話題の提供を行い、サステナブルなまちづくりのための課題を抽出し、解決の方向性を見出す活動をしている。

今年度は、学識経験者、公共団体等の中堅層、経済界などへの研究会参加の依頼を行い、研究会を4回開催した（メンバー24名）。

日程	タイトル	講師
6/30	ニューノーマル時代のニューローカルデザイン：アウトブレイク・リスクに対応する持続可能な都市	大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 交通・地域計画学 教授 土井健司
8/18	フランスの都市の動向～パリ都市圏を事例として～ 鉄道沿線における連携によるまちづくり	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授 岡井有佳 寝屋川市 2軸化事業本部 技術専門役 茂福隆幸
11/1	デジタル化の進展とニューノーマルに対応した都市政策と都市計画	東京大学大学院新領域創成科学研究科 研究科長・教授 出口敦
12/22	尼崎市の都市づくりと空き家対策 新しい都市計画の手法 まちを変えるシンプルな法則	尼崎市 都市整備局住宅部 住宅政策課 課長 相馬美津子 都市計画家・(株)サルトコラボレイティブ 代表取締役 加藤寛之

○（新規テーマ）地域とまちづくりビジネスのマッチングに関する研究

近年、まちづくりに資する新しいビジネスが生まれつつあるなか、地域の資源や課題を的確に把握してマッチングすること、及びそれをコーディネートする組織が求められるようになってきている。また、地域とプレイヤーをつなげることは、さらなるプレイヤーを創出させる効果も期待できるほか、地域住民のまちづくりに積極的に関わる意欲を増進することにつながる可能性がある。そのために、地域においてどのような調査を行い、いかにまちづくりを進めていくかについて、先進事例やケーススタディを通じてその手法を考案する。

今年度は、昨年度に引き続き大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専

攻加賀研究室と共同研究を実施した。

- ・ 研究対象エリアにおけるまちづくりビジネスの事例調査
- ・ まちづくりビジネスの国内先行事例調査追加調査
- ・ 不動産会社を対象にしたまちづくりビジネスのアンケート調査設計

○（継続テーマ）コミュニティ活動を通じた地域文化資源発見

従来の発想にとらわれない新しい視点での地域文化資源を定義・抽出・編集することにより、大阪の「キタ」エリアの魅力を語るストーリーを導き出すとともに、まちを使いこなす人材を育成することを目的に、今年度「キタ再発見の会」をオンラインにて4回実施した。

※コーディネーター（一社）うめらく 代表 山田摩利子

日程	タイトル	講師	参加者
4/28	地域と企業をコネクトする架け橋	新日本コンピュータマネジメント(株) 岩本康男	20名
5/20	梅田・曾根崎の今昔物語から見るキタの魅力	つひまぶ編集長 浅香保ルイス龍太	32名
6/25	新住民と共に地域共生社会を目指す中之島の未来	中之島青少年指導委員代表 小國展豊 中之島地区民生委員 森由美	23名
10/12	つながり合うステークホルダーでつくるアットホームな町・豊崎	豊崎地域社会福祉協議会会長 小玉始	26名

○（継続テーマ）公共空間アクティビティに関する情報収集

公園、広場、道路、河川等の公共空間におけるアクティビティ促進に関するシーズを収集し、まちづくり関係者の用途に供するガイドブックの作成を目指す。

今年度は、昨年度同様（一社）公園からの健康づくりネットとの共同研究として調査を進めて、2019年度、2020年度の調査をまとめたガイドブックを作成した。

○（継続テーマ）地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の研究

SDGsやSociety5.0といった社会やまちづくり変革のキーワードが浮上するなか、大阪府を中心に関西における社会環境の変化－少子高齢化、コミュニティ等の地域力の低下、防災、外国人受け入れ増加、地域活性化 等－に対応しうる人材を育成するための研究を実施している。

当法人と（特非）Co.to.hanaが事務局となり、産学官の有識者・実務者を招聘して一昨年度組成した「地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の検討に係る研究会」を3回実施した。研究会の会員9名。

- ・ 地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の検討に係る研究会

日程	タイトル	講師
6/21	人材育成講座の計画について	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎

日程	タイトル	講師
11/17	KIITO300を含む、KIITO全体のこれまでと今後について KIITO300を含む施設見学及び意見交換 人材育成講座Social Mirai Designの実施状況について	デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長 永田宏和 事務局長 近藤健史 当法人 主席研究員 三本松道昭
3/29	人材育成講座Social Mirai Design第4期の実施結果について	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎

また、当法人と（特非）Co.to.hanaとの共同研究として、ソーシャルデザインについて系統的かつ実践的に学ぶ講座「Social Mirai Design」を試行的に開講した。

・ Social Mirai Design（第3期）参加者16名。

日程	タイトル	講師
7/18	キックオフ・ワークショップ	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎
7/25	コミュニティ×研究×まちづくり×企業	(株)MIMIGURI Manager Researcher 東南裕美 としま会議 代表 中島明 note(株) 事業開発 半田美幸
8/1	問いづくりワークショップ	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎
8/15	コミュニティ×ティール組織	場とつながりラボhome's vi代表理事 嘉村賢州
9/5	コミュニティ×地域医療	Community Nurse Company(株)代表取締役矢田明子
9/12	ファンコミュニティ	IKEUCHI ORGANIC 代表 池内計司
9/26	クロージング・ワークショップ	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎

・ Social Mirai Design（第4期）参加者10名。

日程	タイトル	講師
1/30	キックオフ・ワークショップ	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎
2/7	問いと対話のワークショップ	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎
2/19	人生の道を描くエラマワークショップ	フィンランド生涯教育研究家、Elämäプロジェクト代表 石原侑美
2/21	問いと対話のワークショップ	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎

日程	タイトル	講師
2/23	ゲスト講義	福島県郡山高校 紺野陽奈 ファシリテーションカレッジ 澤田有希 (一社) ワーシャル 代表理事 三浦尚也
3/6	中間発表	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎
3/22	クロージング・ワークショップ	NPO法人Co.to.hana コミュニティデザイナー 丸毛幸太郎

(2) UIまちづくりフォーラム（講座、セミナー、育成）

まちづくり分野の新たな施策・制度や動向を紹介するセミナーを、4回実施し、大阪府を中心に関西の都市が抱える課題や解決の方向性について、様々な視点から議論を深めた。

日時	タイトル	講師	参加者
9/15	エリアイノベーションの考え方と実践 ～(株)RETOWNの取り組み	(株)RETOWN 代表取締役 松本篤 コーディネーター 関西大学 環境都市工 学部 建築学科 教授 岡絵理子	115名
10/25	SDGs未来都市の構想と推進方策を考 える～生駒都市における取組事例から	生駒市地域活力創生部SDGs推進課 課長 補佐 木口昌幸 いごま市民パワー(株) 取締役 市民エネルギー生駒 代表理事 楠正志 アマタホールディングス(株) 未来デザイン グループ 経営クリエーションチーム 蝦 名裕一郎	97名
11/1～ 11/7	心地よい生活を支えるしなやかな社会 の創造～都市が抱える課題とグリーン スペースが果たす役割	World Urban Parks会長 Neil McCarthy World Urban Parks副会長 前アジア太平洋 支局長 Tim Geyer WHOヨーロッパ環境健康センター Matthias Braubach Pierpaolo Mudu Nathalie Roebbel	199名
2/24	これからのまちづくりにおけるオーブ ンスペースの役割	当法人 主席研究員 三本松道昭 (公財)都市緑化機構 上席総括研究員 小 酒井淑乃 阪急阪神不動産(株) 開発事業本部 うめきた 事業部 中野草太 コメンテーター： 大阪府立大学 教授 加我宏之 コー ディネーター： (一社)公園からの健康づくりネット 事務局長 浦崎真一	108名

(3) UIまちづくりレターの配信（調査、資料収集）

まちづくりに係わる様々な話題や動向を調査して、レター形式で情報を配信するもの。2021年度は下記のとおり4回配信した。

日時	タイトル
8/31	TauT阪急洛西口の開発と運営
9/7	みんなのうえん～（一社）グッドラックの取り組み～
12/1	エリアイノベーションの考え方と実践～(株)RETOWNの取り組み
1/13	SDGs未来都市の構想と推進方策を考える～生駒市における取り組み事例から

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりを目指し、鉄道沿線価値の維持・向上に向けた調査研究を行い、提言につなげる。

(1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究（調査、資料収集）

近未来（2040年）を念頭に置き、十三エリアにおいて目指すべきまちづくりの方向性を提案する手がかりとなる魅力や展望、課題を抽出し、開発の方向性について考察する。

今年度は、昨年度に引き続き、関西大学総合情報学部徳山教授、大阪市立大学吉田准教授、京都市立芸術大学藤本教授、近畿大学寺川准教授、神戸大学槻橋准教授をメンバーとする有識者による研究会を組成し、十三エリアの魅力を発見していくために各専門分野から議論を行い、十三エリアのブランディングの考察を行った。

また、十三の知名度向上とイメージ改善をめざし、十三の魅力や今後のまちづくりに関する展望などを情報発信するイベントを開催した。

【タイトル】 十三×（JUSO CROSS）

【主催】 (株)いきいきライフ阪急阪神、当法人

【開催日】 2022/3/12

【開催場所】 グランドサロン十三

【参加者数】 117名

プログラム	講師
(午前の部) 十三とプレイスブランディング 十三の景観力 質疑応答&クロストーク	関西大学総合情報学部 教授 徳山美津恵 京都市立芸術大学美術学部 教授 藤本英子 ファシリテーター 総合調査設計 笹井浩 グラフィックレコーダー 有廣悠乃
(午後の部) ゲストの活動紹介 トークセッション	第七芸術劇場 シアターセブン代表 松田昭男 よどがわ河川敷フェスティバル実行委員 佐々木美穂 NPO法人淀川アートネット代表 cafe yutte 牟田麻希 グランドサロン十三経営者 宮田泰三 十三光スタジオ淀壁 BAKIBAKI

プログラム	講師
質疑応答&クロストーク	司会 hospitality link 土井智史 グラフィックレコーダー 有廣悠乃

3. まちの国際化に関する調査研究

大阪を中心に関西で増加する外国人観光客をはじめ、海外から来阪するビジネスマンや外国人居住者に着目し、地域を活性化するうえで欠かせない大阪のまちの課題を調査研究する。

(1) エリアMICEの推進に関する調査・研究（調査、資料収集）

2018年より開催してきたエリアMICE研究会の活動実績を報告書としてまとめるため、追加のヒアリング調査などを行った。報告書は2022年5月に完成予定である。

(2) 大阪のまちと国際化に関する調査・研究（調査、資料収集）

(実績なし)

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

大阪の地場産業である製薬業界の振興のため、非競争領域における創薬の基盤技術の普及や促進のための活動を支援する。現在は、コンピュータやヒト細菌叢（マイクロバイーム）の利用促進に関する活動を支援している。

（1）（特非）バイオグリッドセンター関西の運営支援

文部科学省ITプログラム「スーパーコンピュータネットワークの構築」（バイオグリッド・プロジェクト）として、2002年より2006年の5年間実施したプロジェクトを母体に、その研究成果の産業利用を目的に2004年に設立された。情報技術とバイオ、医療の融合分野における研究開発及び教育普及活動を行っている。

当法人は、2004年度設立時より事務局業務を受託し、今年度も運営を支援中である。

○事務局運営

第18回総会（5月22日）並びに研究会をはじめ、バイオ研究者や製薬企業・ICT・バイオ関連企業関係者の交流事業やプロジェクトを運営した。

○バイオグリッドHPCIプロジェクト（KBDDプロジェクト）

2012年度より、創薬にスーパーコンピュータを活用するプロジェクトとして活動している。参画者は、4/1現在、製薬企業15社、IT企業2社、京都大学、横浜市立大学、兵庫県立大学、大阪大学、（国研）産業技術総合研究所、（公財）神戸医療産業都市推進機構、千葉大学、摂南大学、（国研）理化学研究所である。活用しているスーパーコンピュータは、富岳（無料産業利用枠）である。当法人は事務局として運営を支援している。

（2）（一社）日本マイクロバイームコンソーシアムの運営支援

製薬業界のみならず食品業界においてもヒトと共生する微生物叢に注目が集まり、健康に資する機能性食品や化粧品の開発に期待が高まっている。同法人は企業主体のコンソーシアムで、微生物叢の計測基盤整備などの研究開発を行っている。NEDO事業にて微生物叢の「標準プロトコル」を完成させ、共同開発したNITEが国産初の研究用「ヒト常在微生物カクテル」の提供開始のプレスリリースを行なった。また、AMEDより採択を受け新たな治療薬開発へつながる研究開発を開始した。当法人は事務局を担い活動を支援している。

（3）（一社）ライフインテリジェンスコンソーシアムの運営支援

ライフサイエンス分野におけるAI・ビッグデータ等のアプリケーション開発および社会実装を行うことにより、当該分野の発展と人材育成、DXの推進、経済振興のために設立された法人の事務局として運営支援を行った。事務局業務の受託は今年度で終了し、2022年度からは新たに設ける産学連携シェアオフィスの入居テナントとして活動を継続する。

（4）バイオコミュニティ関西の運営支援

バイオコミュニティ関西は、内閣府の「バイオ戦略2020」に基づき、バイオエコノミー社会の実現を目指して7月に設立された。関西を拠点とし、バイオファーストの発想で国内外のバイオ関連機関と連携し、各市場領域において研究開発から事業化までの戦略的なバリューチェーンを構築することで社会課題の解決を図ることをめざす。当法人はNPO法人近畿バイオインダストリー振興会議と共に事務局を担い委員会や分科会の開催をはじめバイオ分野の一般向けセミナーの開催およびWEBサイトでの情報発信など活動を支援している。

(5) モダリティ研究所の運営支援

低分子に代わる製薬の新しいモダリティ（様式）として、抗体、核酸、細胞治療などが注目を集めている。これらは従来の創薬手法ではないアプローチが必要で、化学メーカーなども非常に興味を持っている。新しいモダリティのあり方を、化学メーカー、製薬メーカー、バイオベンチャーなど巻き込んで技術課題やビジネスの在り方を研究するため、特定非営利活動法人情報計算化学生物学会（CBI学会）の傘下のCBI研究機構内に次世代モダリティ研究所を設立し、その事務局として運営支援を行っている。

2. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方の方策を実践に移すため、主に都心部におけるエリアマネジメント団体等の諸活動を支援している。

(1) 梅田地区における案内所業務への支援

都心部における案内サービスのあり方を検討するとともに、各案内所で共通で利用できるツールの作成を通じて案内所業務への支援を行っている。

今年度は、全体的な情報の把握と整理が必要なもの（バスのりば案内、鉄道路線図、金融機関等）のマップと詳細情報リストを4回更新作成し、各案内所に配布した。

(2) 大阪エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

大阪市と市内エリアマネジメント8団体で構成する会議で、大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化に向けたアクションプランとガイドラインの策定を目指し、2016年度に発足した。

今年度は公益性の創出に向けて、8団体が連携して取り組むことができる活動を行うとともに、大阪エリアマネジメント活性化ガイドラインの充実を図る。本会2回、部会4回の運営を支援した。

日程	内容
7/5	部会
7/28	第11回大阪エリアマネジメント活性化会議（本会）
9/30	第1回安全・安心部会
12/9	第2回安全・安心部会
1/17	第3回安全・安心部会
3/22	第12回大阪エリアマネジメント活性化会議（本会）

3. (公社) 都市住宅学会関西支部の運営支援

日本の都市住宅・居住学について、社会、経済、技術、文化等の横断的な領域にまたがる学際的な学会で、1992年に設立された。関西支部においては、公的住宅団地、子育て環境、超高層住宅のあり方や、鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりに関する調査研究を実施している。

当法人は、2015年より事務局業務を受託し、総会1回・常議員会6回のほか、関連セミナー1回の運営を支援した。

4. 大学技術シーズの発掘と育成支援

公益事業1で実施する「関西イノベーションイニシアティブ（KSII）」事業を補完し相乗効果をあげるため、次のような事業を実施した。

- 大学発ベンチャー等の紹介動画作成
設立間もない大学発ベンチャー企業や、産学連携支援機関の紹介動画を作成した。作成した動画は、各機関の保有するシーズの発掘と事業化支援に活用している。また、1/31に開催した産業界とのマッチングイベント（関西アカデミア×KSII×SMBC 第1回Challenge万博『いのち輝く未来社会』へ）に合わせて、大学発ベンチャーおよび研究シーズの紹介動画を作成し、マッチングの確率を高めるために活用している。

○ 産学連携支援機関（4社）

大阪大学ベンチャーキャピタル(株)	(株)神戸大学イノベーション
(株)産学連携研究所 (公財) 京都高度技術研究所	京都大学イノベーションキャピタル(株)

○ 大学発ベンチャー（7社）

(株)エネコートテクノロジーズ	(株)オーシャンアイズ
(株)ディーピーエス	(株)Luxonus
京都フュージョニアリング(株)	Hi Lung(株)
リジェネフロ(株)	

○ 大学発ベンチャーおよび研究シーズ（SMBCマッチングイベント）（11件）

(株)人機一体	近畿大学 工学部 応用化学科 物質系工学専攻 今井 喜胤 准教授
(株)OPTMASS	関西学院大学 工学部 情報工学課程 山本倫也教授
レラテック(株)	同志社大学 理工学部環境システム学科 後藤琢也教授
(株)fineOptimAI	大阪府立大学大学院 工学研究科 電子・数物系専攻 竹井邦晴教授
キューエル(株)	大阪市立大学 大学院工学研究科 機械物理系専攻 今津篤志講師
(株)アイ・エレクトロライト	

- 市場調査等（SCORE連携）
文部科学省・JSTの大学発新産業創出プログラム・大学・エコシステム推進型スタートアップエコシステム形成支援に基づき組成されたプラットフォーム「京阪神スタートアップアカデミア・コアリション」（KSAC）において採択された起業活動支援案件の内から、更に下記の5件の有望な大学発シーズに対して、市場調査等の支援を行った。

大学発シーズ(研究課題)	(研究代表者)	支援の概要
人工肛門患者の社会復帰を促す、高機能排便制御デバイスの開発	京都大学 医学研究科 医学専攻 消化管外科学 博士課程2回生 谷 亮太郎	ストーマに関するFTO（侵害予防）調査 日本・海外 ストーマに関するパテントマップ作成 日本・海外
圧電組紐で新しいコミュニケーション体験の創生 YUWAERU圧電繊維を活用したプロダクトおよびサービス 開発による新しい体験提案	関西大学 システム理工学部 電気電子情報工学科 教授 田實 佳郎	組紐状センサーの事業化における競合状況に関する調査
ビッグデータ駆動型眼球運動トレーニング社会の実現に向けたコンテンツ・プロトタイプ開発	関西学院大学工学部情報工学課程 教授 山本 倫也	眼球の動きをスムーズにするトレーニングの事業化に向け開発したシステムのユーザビリティ調査
個人・社会のwell-being回復に向けた認知行動コンサルティング事業の確立	大阪大学 人間科学研究科 准教授 平井 啓	認知行動コンサルティング事業の立ち上げ支援として、調査会社が保有するHRテック市場等に関するデータ・情報の提供ならびに文献調査
有価金属や有害金属の除去・回収を可能とする低環境負荷型高性能金属吸着材料の開発	大阪市立大学大学院工学研究科 化学生物系専攻 教授 東 雅之	有価金属や有害金属の除去・回収を可能とする低環境負荷型高性能金属吸着材料の開発に係る市場調査およびターゲット顧客へのヒアリング

- 大学発ベンチャーへの土業相談や市場調査

KSIIの活動として掲げている「ゼブラ創出に向けた活動を通じたエコシステムの構築」、および「大学の研究シーズの社会実装に向けた支援」に関し、その推進内容に包含される土業相談や市場調査の支援は、企業の販路拡大や企業成長の重要なステップとなる海外進出において特に重要と考えられる。

土業相談や市場調査を実施対象の4社の大学発ベンチャーをモデルとして、国際的に豊富な経験を有し、且つその分野に特化した専門家やシンクタンクへの土業、市場調査を実施した。

海外市場に向けた土業、市場調査のプロセスをKSIIとして学ぶと共に、経験豊かな専門家とのパイプを構築することで、その経験を今後の知的財産関係の支援メニュー策定時の参考・活用情報とする。

社名	調査内容
(株)エネコートテクノロジーズ	太陽電池の用途、市場展開の課題に関する相談・調査
(株)ルクソナス	光超音波画像装置の研究機器としての海外市場に関する調査
サイアス(株)	iPS細胞由来CAR-NK細胞に関するFTO調査
リジェネフロ(株)	細胞の拡大培養法に関する特許のFTO調査

【法人管理】公益法人としての適正な運営

理事会を8回（うち4回は決議の省略）、評議員会を2回（うち1回は決議の省略）開催し、公益法人として適法な運営を行った。

第40回理事会 (決議の省略)	2021/4/1	議案 重要な使用人の選任の件
第41回理事会	2021/5/17	第1号議案 2020年度 事業報告書並びに決算報告書承認の件 第2号議案 一般社団法人ライフインテリジェンスコンソーシアム(LINC)事務局業務受託の件 第3号議案 第12回評議員会招集の件 報告事項 職務執行状況報告
第42回理事会 (決議の省略)	2021/6/9	第1号議案 第12回評議員会に推薦する理事候補者1名追加の件 第2号議案 第12回評議員会に議案を1件追加する件
第43回理事会 (決議の省略)	2021/6/11	議案 第12回評議員会に議案を1件追加する件
第12回評議員会	2021/6/22	第1号議案 2020年度 決算報告書承認の件 第2号議案 評議員1名選任の件 第3号議案 理事6名選任の件 第4号議案 顧問に報酬を支給する件 第5号議案 定款変更の件（特別決議） 報告事項 2020年度事業報告
第44回理事会	2021/6/22	第1号議案 理事長 選定の件 第2号議案 専務理事 選定の件 第3号議案 2020年度事業報告等に係る定期提出書類承認の件
第45回理事会 (決議の省略)	2021/6/30	決議事項 議案 顧問1名選任の件
第46回 理事会	2021/10/28	第1号議案 2021年度事業計画ならびに収支予算見直しの件 第2号議案 阪急阪神フィナンシャルサポートとの金銭消費貸借契約締結の件 第3号議案 顧問1名選任の件 報告事項 職務執行状況報告
第47回理事会	2022/3/17	第1号議案 2022年度事業計画書、収支予算書、並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件 第2号議案 2022年度役員賠償責任保険契約締結の件 第3号議案 基本財産取り崩しの件 第4号議案 特定費用準備資金等取扱規則制定の件 第5号議案 第13回評議員会書面開催の件 報告事項 宮原秀夫顧問辞任の件
第13回評議員会 (決議の省略)	2022/3/25	議案 基本財産取り崩しの件

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

以 上